

2023年(令和5年)  
2月1日 水曜日  
第1905号

# 京都自動車新聞



京ト協 支部・部会が新年会開く  
検査手数料 クレジット決済可能に  
京都トヨタ レンタルスペース開始  
A J A 次年度理事を選出  
◀京レ協青年部会が講演会開く

2  
5  
6  
8  
7

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp https://kyotojidoshanp.jp

## 京都経済、再び大幅プラス

### 第3四半期 リスクいまだ根強く

府内に本社・本店がある大手・中小企業の2022年度第3四半期(昨年10~12月の自社業況BSI値(経営状況の力強さ)は12.7と、前期(昨年7~9月)から14.7で反発し、再びプラス基調に乗せた。需要期ならではの底堅さに加え、全国旅行支援の展開や自粛ムードの薄れなどを受けた人流の回復が原動力となった。ただ、これまでの材料不足、原材料・燃料の高騰、コロナウイルスの感染拡大といったリスクはいまだ健在で、ここに物価の上昇が追い打ちをかける構図は変わらない。京都商工会議所がこのほど公表した。

追跡データベース — 京都商工会議所編 —

#### 総合判断

一進一退の状況が続く中で、季節的な特需も相まってプラスに大きく振れた格好。21年度第3四半期(10~12月)以来、1年ぶりに2桁の伸び率を記録した。今後は、第4四半期(1~3月)でいったんマイナス2.4まで戻すとの見立て。緩やかな

自社概況 (総合判断)	BSI値(実績・予測)			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
総計	▲2.0	12.7	▲2.4	1.7
業種別				
製造業	0.5	12.5	▲0.5	▲1.2
卸売業	▲1.2	6.7	4.5	7.8
小売業	▲18.8	40.0	▲16.7	6.7
建設業	0.0	▲5.8	1.9	▲19.3
不動産業	▲9.1	5.6	0.0	5.6
運輸・倉庫業	▲7.2	14.7	▲20.6	8.8
サービス業	▲4.1	19.7	▲5.6	11.6

がら着実な足取りを見込む。業種別の最高値は、自動車販売力テグリーを含む小売業で40.0。前期から58.8伸び、堅

調ぶりを鮮明にするも、第4四半期ではマイナス16.7まで急降下する見通し。自動車関連ではほかに、運輸・倉庫業が14.7と大幅に持ち直した。だが、第4四半期には業種別で最低値となるマイナス20.6に後退すると踏む。一方、自動車整備などが属するサービス業も、19.7と大きく改善。ところが例に漏れず、第4四半期には落ち込むもようだ。いずれの業種も第1四半期には上向く公算が大きい。

規模別では、大企業が15.1、中小企業が11.6だった。全体の66.7%もの企業が当面の経営上の問題点として「原材料(燃料)高」を挙げた。「求人難」(36.8%)、「入件費負担増大」(17.9%)が前回の増加し、「受注・売上不振」(35.6%)、「技能労働者不足」(15.7%)は減少した。「原材料(燃料)高」は前期比2.3%減で、5期連続の最多回答。調査対象の企業からは、「電気代の高騰、人件費の増加が収益に影響を与えている」(運輸・倉庫業)、「仕入れ価格の上昇に伴い商品価格を上げしたが、一定数の顧客を失った可能性がある」(小売業)など、各種価格の上昇やその転嫁にまつわる声が多数聞かれた。一方で、「コロナ時に抱えた借入れの返済の軽減策を講じる必要がある」(旅館・ホテル)、「顧客を喪失したため、融資を受けたが、返済の負担が大きく、事業継続の足かせになっている」(その他サービス)といったように、資金繰りの課題について言及する事業者も増えつつある。

#### 経営動向

経済の下降トレンドは多くの項目で解消した。経常利益は、第2四半期比16.1%増の6.5%と、自社業況と同じくプラスに転じた。小売業は23.3%、運輸・倉庫業は8.8%、サービス業は20.0%だった。所定外労働時間は11.3%まで改善し、6カテゴリーで増加。ただし、第4四半期以降は半数ほどの業種で再び低下するとみられる。資金繰りは1.5%回復し、マイナス1.7%。小売業、運輸・倉庫業、サービス業いずれも平均を上回った。

#### 経営上の課題

全体の66.7%もの企業が当面の経営上の問題点として「原材料(燃料)高」を挙げた。「求人難」(36.8%)、「入件費負担増大」(17.9%)が前回の増加し、「受注・売上不振」(35.6%)、「技能労働者不足」(15.7%)は減少した。「原材料(燃料)高」は前期比2.3%減で、5期連続の最多回答。調査対象の企業からは、「電気代の高騰、人件費の増加が収益に影響を与えている」(運輸・倉庫業)、「仕入れ価格の上昇に伴い商品価格を上げしたが、一定数の顧客を失った可能性がある」(小売業)など、各種価格の上昇やその転嫁にまつわる声が多数聞かれた。一方で、「コロナ時に抱えた借入れの返済の軽減策を講じる必要がある」(旅館・ホテル)、「顧客を喪失したため、融資を受けたが、返済の負担が大きく、事業継続の足かせになっている」(その他サービス)といったように、資金繰りの課題について言及する事業者も増えつつある。

### 京レ協が 3年ぶり盛大に新春行事 賀詞交歓会

一般社団法人京都府レンタカー協会(三宅輝行会長)は1月12日、ウェスティン都ホテル京都で賀詞交歓会を開催、参加者同士が新年のあいさつを交わすとともに、コロナ禍で水を掛けられたものの、日増しに力強さを取り戻しつつある業界の未来へ思いを寄せた。京レ協が交歓会を開催するのは3年ぶり。

開会にあたり三宅会長は、新たな年の到来を祝うあいさつを述べた上で「昨年の活動の中でとりわけ意義深かったのは、3年ぶりに開催できた事業者講習会だろう。業界の安心安全のために京都運輸支局と協力しながら定期開催にこぎ着きたい」と方向付け。これを踏まえ、「需要環境は回復傾向にあるが、この先アップダウンもあるだろう。良い流れがきた時にはそれに乗れるよう、逆に悪い流れの時もしっかりと対応できるように準備しておくことが肝要だ。幸多き1年になることを祈念する」と力強く第一声を発した。京都運輸支局の藤原幸嗣支局長も「新車の供給制約の中



あいさつする三宅会長

でも、普通車のレンタカー登録台数が前年を上回ったことは好材料。安心安全なレンタカーサービスを継続していただき、ユーザーニーズの多様化に対応するとともに、他の交通事業者との連携の道筋も探ってほしい」と来賓祝辞でエールを送った。また、2019年度から今年度にかけて新たに



入会したエムケイ石油、京都日野自動車、名鉄協商、極東開発工業が紹介

され、それぞれ壇上であいさつ、出席者から拍手で迎えられた。懇親会の閉会あいさつで入江清副会長は「この3年大変だったが、プラスもある。ソーシャルディスタンスの浸透や行動パターンの変容で、レンタカーを初めて利用する人が増えたことだ。まだまだ広がる余地がある」と、レンタカーのさらなる可能性に言及、新たな年の各事業者の躍進に願いを込めた。

# SOLIO

(HYBRID)

## 選べる、2つのハイブリッド。

マイルドハイブリッドに加えて 新型ハイブリッドが仲間入り!



株式会社 **スズキ自販京都**

本社 / 京都府向日市寺戸町寺田50-2 ☎075-924-6600

アリーナ京都桂川 075-924-2600  
アリーナ吉祥院 075-681-6150  
アリーナ高野 075-701-7131  
アリーナ西陣 075-415-0234  
右京店 075-322-4011  
アリーナ山科 075-574-0101

アリーナ伏見深草 075-641-1101  
アリーナ伏見新堀川 075-602-8001  
アリーナ亀岡 0771-25-3891  
アリーナ宇治 0774-22-9129  
アリーナ城陽 0774-55-7455  
アリーナ福知山岩井 0773-22-8712

舞鶴店 0773-75-4330  
峰山店 0772-62-5075

